

Vol. 131

## CONTENTS

【コラム】教科「情報」の魅力を引き出す探究的な学びの推進を…田崎 丈晴

【解説】中高生情報学研究コンテストの意義と第4回の審査の様子…中野 由章

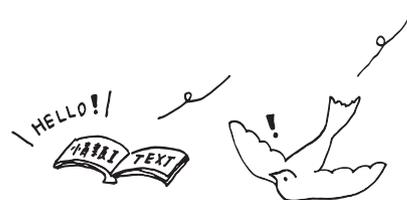
【解説】第4回中高生情報学研究コンテストの作品紹介…稲垣 知宏

基  
般



## COLUMN

### 教科「情報」の魅力を引き出す 探究的な学びの推進を



2022年3月5日、第4回中高生情報学研究コンテスト<sup>☆1</sup>が開催された。中学生、高校生、中等教育学校生、高等専門学校生による、高等学校の教科「情報」や、中学校の技術・家庭科（技術分野）「D 情報の技術」に沿った探究活動など、日頃の情報学分野での学習成果のポスター発表86件を聴くことができた。今回から、後援に文部科学省を加えていただいた関係で、最優秀賞は、最優秀賞・文部科学大臣賞として贈られた。この賞を受賞した発表「スマート盲導杖『道しる兵衛』」は、分かりやすい問題提起を行い、先行事例を十分に調査されている。次に技術を活用するための自身の考えを明確に示し、自分でできる部分を開発した。その後動作検証を行い、新たな価値を提案した。このほかの発表においても、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会の発展に寄与する研究成果と言える多くの発表があり、優秀賞、奨励賞、入選に46件の発表が選ばれた。コンテストのWebサイトには、参加したポスターすべてに対する、探究的な学習活動の進め方、成果のまとめ方などのコメントが掲載された。発表者にとって参考になることはもちろんのこと、「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」における探究的な学習活動の事例としてこれから学習活動に取り組もうと考えている先生や生徒の皆さんにとっても参考になると思う。

さて、この4月から新しい学習指導要領が学年進行で実施された。「情報Ⅰ」は、問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う科目、「情報Ⅱ」は、「情報Ⅰ」において培った基礎の上に、問題の発見・解決に向けて、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用する、あるいはコンテンツを創造する力を養う科目である。学習指導要領では、生徒がこのような力を、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して身に付けること、それに向けて、主体的・対話的で深い学びの実現を図ること、その際には、探究的な学習活動の充実を図ることを求めている。生徒たちが革新的、創造的な発想で問題解決に取り組み、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする力を、探究的な学習活動を通して養えるよう、大いに取り組まれることを期待している。次回の中高生情報学研究コンテストが今から楽しみである。

☆1 第4回 中高生情報学研究コンテストポスター、<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/84/84PosterSession/contents/index.html>



田崎丈晴（国立教育政策研究所教育課程研究センター／文部科学省初等中等教育局）（正会員） [tasaki@nier.go.jp](mailto:tasaki@nier.go.jp)

2003年東京理科大学大学院修士課程経営工学専攻修了後、埼玉県私立高校、東京都公立高校で情報および技術・家庭科（技術分野）を担当し、東京都教育委員会勤務、東京都立中学校副校長を経て現職。

LOGOTYPE DESIGN...Megumi Nakata, ILLUSTRATION&PAGE LAYOUT DESIGN...Miyu Kuno